

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2018年 第167号 平成30年9月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

対談!

勝浦市バレーボール協会と
市議会



特集記事（対談）	2・3P
審議結果（トピックス）	4・5P
委員会活動等	6・7P
一般質問	8～11P
きみの未来、あなたの未来 議会のうごき 編集後記	12P

平成30年11月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

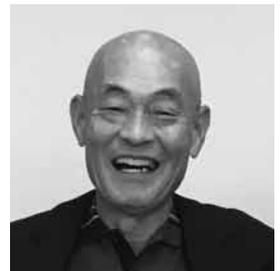
勝浦市 バレーボール協会 と 市議会

特集記事第16弾は、勝浦市バレーボール協会のみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



渡辺 一浩 副会長



高岡 顕恒 会長



長田 悟 事務局長



議員は議員特有のアンテナを使い

勝浦市発展のために尽力してほしい。

【勝浦市バレーボール協会とは、どのような団体ですか？】

勝浦市バレーボール協会は、昭和47年3月、クラブ組織であったものから勝浦市バレーボール協会として設立し、市内におけるバレーボール愛好者の普及、発展に努めることを目的とし、賛同するバレーボール愛好者によって組織された団体です。現在、PTAなどを中心に女子が11チーム、男子が5チームで活動しています。

【具体的に、どのような活動をされていますか？】

主に「春・秋季市内大会」、「勝浦杯近隣中学校バレーボール大会」、「鳴海バレーボール大会」の開催や、市PTA・郡PTA大会の審判をしています。その他には、KVC（勝浦バレーボールコミュニティ）等を国際武道大学と連携して2事業を共催しています。KVCはバレーボールが好きな小学生から社会人を集めて、国際武道大学の

学生が、プログラムを作り、指導、練習するものです。平成30年度は、5月から12月まで14回が予定されています。現在、約90名の登録があります。もう1つは、郡内の中学生を対象としたバレーボール教室。こちらも国際武道大学の学生が全てコーディネーターします。どちらも国際武道大学という地域の教育力との連携で、協会として大きな意味を持ちます。多少大きな大会でも、国際武道大学での開催ですと、1回に5面、6面のコートが取れ、多くのチ

ームの参加を受け入れる事ができます。審判も学生達が快く引き受けてくれて、いずれの大会を開催するにしても全面的に協力をしてくれれます。我々は本当に国際武道大学に感謝していますし、大きな存在だと思っています。今後も連携して大会の開催や、バレーボール協会の存続の為に、若い後継者を育成して行きたいと思えます。

【活動について大変なことは？】

人口の減少と少子化に伴うバレーボール愛好者の減少です。過去には千葉県中学校バレーボール大会で興津中学校男子が3連覇、北中学校女子は優勝、関東大会2位。全日本バレーボール中学選手権で3位と輝かしい成績を収めた歴史がありました。しかし、人口の減少と少子化により統合された勝浦中学校では、男子バレーボール部がありません。それに伴い、市内大会等の開催にあたり「チームを作る」ということが課題になっていきます。本来なら市内大会ですので、市内在住の方でチームを作るのですが、現状では作る事が出来ません。市外在住であっても、小中学校が勝浦市の卒業であれば大丈夫

であるとか、9人制であれば4名までは市外の人でも参加できる等の措置を取り、どうにかチームを作っている状況です。

【皆さんがこの地域の活性化のために考えている事はなんですか？】

平成元年から始まり、毎年12月に開催している「鳴海バレーボール大会」では、市内で活動しているチームだけでなく、県内で活動しているチームも招待しています。国際武道大学で交流試合をして、参加賞は勝浦産の「アジの開き」等をお土産としてお持ち帰りしていただいています。特に女性のチームからは、好きなバレーボールもでき、美味しい「アジの開き」も貰えると大好評です。中には前泊して、金目鯛を食べるのも楽しみにしているチームもあります。このように県内チームの交流の場として、勝浦市内の宿泊施設や飲食店、国際武道大学を利用させていただいていきます。また、1つになつた中学校の大会は、中学校体育連盟の協力をいただきながら、「勝浦近隣杯」として郡大会をひとつ大きくした形で開催しています。

【市議会の印象や議員に望むことは？】

正直、市議会を外から見ていると、何をしているのかが全く見えないと感じています。しかし、議員とこのように話す機会が無かったので、今回の対談を設けてくれた事は非常にありがたいと思っています。

議員の印象としては、全体的に若返った感じですね。今後も色々な課題について、議員の持つ特有のアンテナを使い、勝浦市発展のために尽力してくれば、ありがたいと思えます。



対談に応募してみませんか？

対談を希望される団体の方は、議会報編集委員会までご連絡ください。

平成30年9月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会 会期 9月3日から9月18日まで 16日間

●審議案件一覧

結果	議案番号	件名	付託委員会
承認○	議案第35号	専決処分承認を求めることについて（平成30年度勝浦市一般会計補正予算）	付託委員会
承認○	議案第36号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度勝浦市一般会計補正予算）	
可決○	議案第37号	工事請負契約の締結について	
可決○	議案第38号	勝浦市福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生
可決○	議案第39号	平成30年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教
可決○	議案第40号	平成30年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生
可決○	議案第41号	平成30年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生
可決○	議案第42号	平成30年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生
認定○	議案第43号	決算認定について（平成29年度勝浦市一般会計歳入歳出決算）	決算審査
認定○	議案第44号	決算認定について（平成29年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算）	決算審査
認定○	議案第45号	決算認定について（平成29年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）	決算審査
認定及び可決○	議案第47号	利益の処分及び決算認定について（平成29年度勝浦市水道事業会計決算）	決算審査
同意○	議案第48号	勝浦市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	

◎全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

議会報では、審議された全ての議案の中から市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。どうか、議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

勝浦中学校に乗用草刈り機等が

整備されました！

議案第三十九号

平成三十年勝浦市一般会計補正予算

平成三十年一般会計補正予算教育費において、学校管理用備品購入費が75万円計上され、勝浦中学校に市内初の乗用草刈機と、歩行草刈り機等が整備されました。

この草刈り機導入に当たっては、中学校だけでなく、小学校にも貸し出しできるように管理の仕方を工夫し、学校職員の環境整備にかかる負担を軽減する目的があります。

使用にあたっての安全講習は義務づけられていませんが、安全に使用できるよう、使用対象者に安全講習を行う予定です。

本市においては、教育環境整備に向けての働き方改革の一步と言えます。

- ①乗用草刈機「乗用モア」 50万円
- ②草刈機「歩行ロータリーモア」 20万円
- ③積込用はしご「アルミブリッジ」 5万円

●トピックス その2

勝浦市の福祉基金条例が改正されます！

議案第三十八号

勝浦市福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について

勝浦市福祉基金条例が改正され、これまで「高齢者の保健福祉」に限定されていた福祉基金の使用用途が「福祉」全般に拡大することとなりました。

勝浦市福祉基金はこれまで高齢者の福祉増進のため、入湯券の配布事業や勝浦駅エレベーターの設置補助などに充てられてきましたが、この度、市民の方から合計510万8千円のご寄付を頂いた事に伴い、合わせて条例改正を行い、条例の目的、その使用用途を拡大し、対象となる事業を福祉全般に拡大しようとするものです。

この改正により、高齢者の福祉だけでなく社会福祉、例えば障害を持つ方々に対する福祉や児童福祉の面でも活用できる基金となります。



●トピックス その3

子ども・子育て支援事業計画が

策定されます！

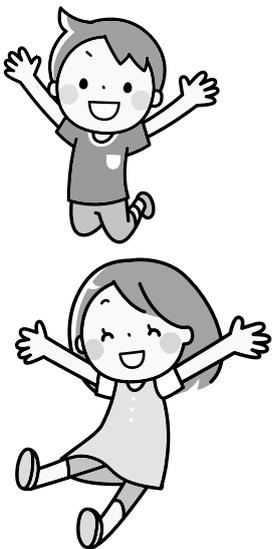
議案第三十九号 平成三十年度勝浦市一般会計補正予算

子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料230万円

「子ども・子育て支援新制度」のスタートに伴い、「勝浦市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

子ども・子育て支援事業計画は、市の子ども・子育てに係る総合的な計画として位置付けられるものであり、策定後は、この計画に基づき、より一層の幼児教育や保育の充実、妊娠・出産期の切れ目ない支援、子育てと仕事の両立支援などの事業を進めていくこととなります。

計画の策定に当たっては、子育て中の家庭を対象としたアンケート調査を基に、教育や保育、子育て支援についてのニーズを計画に盛り込む予定で、今回議会に提出された予算の中にも、計画策定のための基礎調査（アンケート）実施のための経費が組み込まれています。



各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

議案第 39 号平成 30 年度勝浦市一般会計補正予算について、総務文教常任委員会に付託され、審議の結果、全員賛成により可決されました。最終日の本会議において、総務文教常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により「可決」となりました。

産業厚生常任委員会

議案第 38 号勝浦市福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第 40 号ないし議案第 42 号の特別会計補正予算 3 件について、産業厚生常任委員会に付託され、審議の結果、議案 4 件について全員賛成により可決されました。最終日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により付託された条例 1 件と特別会計補正予算 3 件は「可決」となりました。

勝浦市議会表彰選考委員会

勝浦市議会表彰 上野小学校 2 年生 15 名の表彰決定

平成 30 年 9 月 7 日、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、前期分（平成 30 年 1 月 1 日から 6 月 30 日の期間）の市内小中学校の児童・生徒を対象に受賞候補者を推薦していただき、表彰候補者の選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお表彰につきましては、後期分と一括して平成 31 年 3 月議会の初日に、議場において行なわれます。

被表彰者 上野小学校 2 年生 15 名
表彰基準 「第 1 回 CHIBA こども新聞コンクール」、
「学級新聞：小学校低学年部門」千葉県知事賞
上野小学校 1 年生（平成 30 年 3 月 10 日受賞）



※広報かつうら 2018 年 4 月 13 日発行号に掲載されています。

決算審査特別委員会

平成 29 年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、以上 4 件の歳入歳出決算、水道事業会計の利益の処分及び決算を審査するため、7 人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、9 月 12 日及び 13 日の 2 日間、平成 29 年度の予算執行、財政運営、行政効果などを審査し、5 会計については、いずれも全員賛成で、それぞれ認定、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

本会議において委員長から審査の結果と概要が報告され、反対討論、賛成討論を経て、いずれも賛成多数（賛成 13、反対 1）で、それぞれ認定、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員
黒川 民雄	久我 恵子	佐藤 啓史 鈴木 克己 寺尾 重雄 戸坂 健一 松崎 栄二

決算審査特別委員会での主な質問

Q 生活保護費の扶助費で多額な不要額が発生したことについて

A 申請者は年々減少傾向であり、生活困窮者自立支援法や、いろいろな制度も使い自立を支援しているため減少している。また、就労支援により、9 人が就労に結び付き自立している。

Q 防災アプリ管理整備事業について

A 防災アプリについては、音声メッセージ配信機能も付いており個別受信機の代わりにもなる。今年度から運用を開始しているが、今後更なる登録者の確保に向け周知を図っていきたい。

Q 芸術文化交流推進事業、キュステの主催事業における収支状況について

A キュステにおいては、市民 1 人 1 人に対して芸術文化に触れ、生涯を通じて楽しく健康的に学び潤いと生きがい生まれる施設であること、地域住民の相互交流や地域活性化の拠点であり、文化交流などのコミュニティー活動を支え、育むための中核的な施設との基本構想、基本計画に従い運営されている。外房地域の芸術文化の拠点と位置付けられ、芸術文化に対しての費用はかかるものではあり、芸術文化のレベルを向上させるためには止むを得ない支出であるが、内容を精査して、公演後のアンケート結果等を勘案しながらマイナスの縮小に努めていく。



決算審査特別委員会の様子



関係諸帳簿及び証書類検査

市政の目玉が聞きたい

一般質問

9月5日・6日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。



9月6日	9月5日
<p>鈴木 克己 議員</p> <p>①道の駅基本計画について</p> <p>②高齢者福祉政策について</p>	<p>久我 恵子 議員</p> <p>①災害時の避難所におけるトイレについて</p> <p>②乳がん予防について</p>
<p>藤本 治 議員</p> <p>①防災・減災対策の現状と課題について</p> <p>②小・中学校教室へのエアコン設置について</p> <p>③学校および通学路、そして市内全域のブロック塀などの危険除去について</p> <p>④国保税のさらなる引き下げについて</p> <p>⑤市役所の障害者雇用率について</p>	<p>照川 由美子 議員</p> <p>①勝浦漁港荷さばき所(市場)の整備計画と、漁業の担い手支援対策について</p> <p>②「漁村観光」推進に関わる課題について</p> <p>③市内津波避難訓練実施計画と学校防災(災害)教育について</p>
	<p>岩瀬 義信 議員</p> <p>①市長の政治姿勢について</p>
	<p>佐藤 啓史 議員</p> <p>①教育課題について</p>
	<p>戸坂 健一 議員</p> <p>①小中学校における道徳教育について</p>

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



久我恵子議員

災害時の避難所におけるトイレについて

Q 災害時の避難所におけるトイレについての現状をどのように考えているのか、また避難所となる勝浦中学校で新たに建設されるプールの活用をどのように考えているのかお聞かせください。

A 災害時の避難所におけるトイレの課題は、被災者の健康被害と衛生環境の悪化をもたらすことから、被災者の命を支える重要な社会基盤サービスのひとつとして認識している。現在、77基の簡易式トイレと740個の携帯用トイレを備蓄している。

平成31年3月竣工予定の勝浦中学校プールは、災害時には、飲料水とし

ても使用できる浄水機能が整備される。ガソリンエンジンで起動し、1時間で約2千リットルの飲料水を作ることが出来、燃料がなくなった場合でも手動で1時間約千リットルの飲料水を作ることが出来る。このことから、建設中のプールは災害時において飲料水、生活用水として活用される。

乳がん予防について

Q 昨年9月議会でも高濃度乳房について質問をしました。現在、日本人女性の11人に1人が乳がんに罹患しています。乳がん健診のマンモグラフィー検査で乳房全体が白く写る「高濃度乳房」は日本人女性に多く、がんを見つけづらい。「高濃度乳房」であることを

受診者に分かりやすく通知し、早期発見の一助とすべきと思うが、国は説

明の難しさから時期尚早としている。しかし、国内223の自治体は独自に受診者に通知をしている。勝浦市としても乳がんの早期発見の為に、通知をするべきと思うが、市としての考えをお聞かせください。

A 「高濃度乳房」は、乳房のタイプであり、病気ではなく体質であることを受診者に正しく理解してもらう事と、受診者から相談を受けた場合の対応等を検討していく必要があると考えている。今後は国からの通知等に注意するとともに、通知をするためには課題があるのかを検討した上で通知をすることができるよう検討して参りたいと考えている。





照川由美子議員

「勝浦漁港市場の整備計画」と「漁業の担い手支援対策」について

Q 市場整備の方向性と整備検討会の状況は？

A 両漁協と協議した結果、「将来的な合併の必要性は認めるものの課題解決に時間を要するため、安全確保を踏まえた市場整備を優先する」という方針が昨年まとまった。現在、計画期間の延長や建設規模の見直し等、変更案の策定を進めている。今後、県・国との協議を経て工法工期の詳細について決定していく。

Q 漁業の担い手支援対策の「漁船リース緊急事業」の活用と継続性は？

A 市内で四名が活用、本年度は六名が申請。こ

れまで国の緊急対策として補正予算対応だったが、来年度は当初予算に計上するよう水産庁の方針が示され、事業の継続性が期待できる。

「漁村観光」推進に関わる現状と課題について

Q 観光基本計画の見直しはあるのか？

A 計画策定から十七年、改めて「うみの拠点」鶴原・吉尾・松部地区の観光振興策を考え、地域の稼ぐ力を引き出した。

Q 課題のある市道、海水浴場に注ぐ河川の汚濁等、現状と対策は？

A 市道については、要望を精査し、緊急性事業効果等を総合的に判断したい。該当の十二河川中、七河川が調査対象、一河川を除き基準値以下。広報で河川への市民の意識を高めるとともに、廃食油の回収協力に努める体

制を広げていきたい。

「市内津波避難訓練計画」と学校防災訓練について

Q 昨年の避難訓練の状況と今回の計画は？

A 市内全体で七六八人の参加、率は六%と低調。十月二十八日の訓練は、地震体験や煙体験等、様々な企画を工夫し多くの参加を呼びかけていきたいと考える。

Q 地元の津波避難訓練に子ども達を参加させる意義は大きいと考えるが、市のお考えは？

A 小中学生が自主的に参加できるように、前向きに検討したい。



整備予定の勝浦漁港市場



岩瀬義信議員

市長の政治姿勢について

Q 猿田市長は、県商工労働部長等の要職を歴任されてきた行政のプロである。これまでの七年間、我々の想像を超える働きで次々と実績を積み上げてきた。そこで、市長としてどのような心構えで市政の舵取りをしてきたか。また、これまでの実績を見たとき、来年の市長選挙に再度挑戦すべきと思うが、市長のご見解とご心境をお伺いしたい。

A 私は、市民の皆さんの意見や、議会、市職員の見解・考え方を聞きながら政策に取り組みようと、市長への手紙や市民会議を創設し、スピード感をもってまちづくりに取り組んできた。勝浦駅の工

レバーター設置をはじめ、芸術文化交流センターの建設、また、こども医療費の無料化等、予算的な課題もあつたが、国や県の支援、ふるさと納税制度にも支えられ、健全財政を維持しながらこまめに実現できた。私は、本市に必要なものとして、産業振興、企業誘致を図りながら働く場の確保や、観光による交流人口の拡大、子育て・教育環境の充実が必要と考えている。地方創生は、人口減少対策は勿論、市民の平均所得が上がり豊かになることが目的と思っている。また、子育てしやすい政策も大事。課題も色々あるが、特に、当面やり遂げなければならないものとして、元行川アイランド跡地の宿泊型リゾート構想への支援、総野地区への道の駅の実現、上野地区のほ場整備推進などがあ

Q 猿田市長は、千葉商工会議所の専務理事も経験されていることから、企業のトップなど、幅広い業界の方達との交流が深く、皆さんが猿田市政を応援してくれていることは、私も目の当たりにしている。市長の人徳は、勝浦市にとって大きな推進力であると私は思う。「チャレンジしたい。」ではなく、「次もやる。」と、強い決意を聞きたい。

A 私は、市長就任以来の信条として、市民の声を聞きながら、威張ることなく、公平・公正、真心をもって行政執行するという初心を忘れずに市政運営に当たってきたが、これからもこの精神をもって三選出馬をいたします。



佐藤啓史議員

夏の暑さ対策

Q 学校現場における夏の暑さ対策は？

A 換気や扇風機を用いた対策及び積極的な水分補給を促し熱中症の予防に努めた。また7月中旬に教室の室温計測を実施。

午後2時の平均気温は上野小が28.6度、興津小が29.7度、勝浦小が28.8度、郁文小が30.3度、豊浜小が29.5度、総野小が29.0度、勝浦中が29.4度。文科科学省が定める学校衛生基準の28度を超えた日数は、延べ日数11日が4校、12日が3校である。

Q 市内小中学校の普通教室へのエアコン設置について再々度の要望をす

A 教室の室温測定の結果を踏まえ教育委員会会議、勝浦市総合教育会議を開催し協議した結果、来年度6月中を目途にエアコン設置に向けた調査、検討を進める。

Q 導入の方式と予算措置は？

A リース方式で検討しており、債務負担行為で計上したい。

Q 部活動における暑さ対策は？

A 各学校に設置してある暑さ指数計を活用し部活動指導に当たるよう5つの項目について通知した。1点目は、暑さ指数が31度以上の場合活動中止すること。2点目は、児童生徒健康観察の徹底。3点目は、換気扇風機の活用と環境条件の整備。4点目は、登下校を含め服装の軽装や帽子の着用など服装等の指導。5点目には、保護者

に協力を依頼し、スपोर्टドリンクや塩飴の推奨、冷却剤の持参などの対策を講じた。

通学路の安全対策

Q 大阪北部地震ではブロック塀倒壊により児童が犠牲となったが通学路の安全対策に対する市の取り組みについてお聞きする。

A 学校敷地内及び学校隣接地について緊急点検を実施した。また勝浦市通学路安全推進協議会を組織し、勝浦警察署、夷隅土木事務所、市都市建設課、生活環境課、市PTA連絡協議会と連携し通学路の安全対策をすすめていく。



戸坂健一議員

小中学校における道徳教育について

Q 本年度から道徳の授業が全ての小学校で正式に教科となり、来年度からは中学校でも道徳の教科化が実施される。

道徳の評価は数値ではなく、成長の様子や学習状況などを記述するが、評価方法や基準が曖昧で全国の教育現場では混乱も見られる。勝浦市では道徳教育について教員間でどのような教育方針を定め、どのような方法で教育方針を共有しているかお伺いする。

A 道徳の教科化に至った背景であるいじめ問題を踏まえ、すべての小中学校で効果的な指導方法や評価方法について研修を重ねている。

Q 道徳教科化にあたり、

どのような方針で教科として評価をし、教員間でそれを共有していくのか。

A 教科としての道徳の評価方法は、道徳的行為の評価ではなく「自己を見つめ物事を多面的に捉え、自己の生き方について考えることができたか」という心の成長を重視して評価している。

評価方法の共有については、各学校で実施している校内研修のほか、東上総教育事務所による要請訪問などを通じて共有の徹底を図っている。

Q 道徳の教科書の中には「死刑制度について」等意見が分かれることを前提としたテーマも散見される。意見が分かれ議論するのは良いことだが、議論の進め方によっては偏った価値観の押し付けになることも懸念される。道徳授業の公平性の担保のためにどのような取り組みを行っているか。

A 道徳の授業では、議論を重視し、画一的な見方から多面的な見方に発展させていくということが指導のポイント。教員の価値観の押し付けにならない様に十分配慮する。

Q 学習指導要領でも、「考え議論する道徳」を重視する旨記載がある。道徳に置いてディベートなど議論の方法に特化した授業を実施しては。

A 道徳の授業及び特別活動において議論や討論をするルール作りを実践していると理解している。

Q 情報モラル教育についてはどう考えるか。

A 家庭、PTAとも連携し指導していく。



道徳教育研修会の様子 (三郷市)



鈴木克己議員

道の駅基本計画について

Q 今年度事業の道の駅整備基本設計策定業務の委託が前年度基本計画策定を委託した事業者と随意契約されたが、契約の法的根拠等を示された

A 昨年度の基本計画を策定した事業者は、道の駅計画に十分精通している

Q 事業対象地の用地取得に当たっては、土地収用法に基づく事業認定を適用するところがあるが、これについて説明を求め

A 手続きの簡素化と用地提供者への税負担の軽減のため。

Q 予定地の全部が農地

基盤整備をされた農地である。農業振興地域整備計画との関係と農地転用することについて見解を伺う。

A 都市と農山漁村の共生と交流の場となることから、整合性は図られる。

Q 松野バイパス松野から杉戸間は開通が予定されているが、ここだけの開通では、バイパスへの交通量の増加は見込めない。芳賀から松野へのバイパス道路の連結が集客に結び付くと思う。この区間見通しを踏まえ建設計画スケジュールを見直すことも必要であると思うが如何か。状況によっては、改めて場所の変更の検討を行うことを求めるものですが如何か。

A 道の駅整備計画を推進することにより、芳賀からの早期完成を促進する。

地方創生総合戦略にも

ある小さな拠点の核となるものであり地域の生活利便性の向上も併せ持つことから、予定地の変更は考えない。

高齢者福祉政策について

Q 買い物支援の充実についての考えは。

A 日ごろの外出や買い物に関する調査を実施する。

Q デマンドタクシーの運行区域の拡大検討を求めるが。

A 運行区域拡大や利用者増加に向けた取り組みを検討する。



道の駅予定地

防災・減災対策の現状と課題について



藤本治議員

Q ①情報伝達は防災行政無線の個別受信機の普及を基本にすべき。②自主防災組織に期待する

活動とは。③津波避難路への誘導照明の設置の状況は。④避難所のマニュアルは公開することがポイント。⑤防潮堤のかさ上げを検討する海岸づくり会議の対象に興津が選ばれた経緯。

A ①防災行政無線は市内96カ所の屋外拡声子局を基本とし、個別受信機、携帯電話、スマートフォンなどから選択できるよう整備した。②72カ所の一時津波避難場所のどこへ逃げるか、家族や隣近所で話し合ってもらった

とが減災に通じる。③42カ所の津波避難路に本年度末までに28カ所に誘導照明を設置する。④避難所運営マニュアルの共有化については、自主防災組織を対象に協議した

い。⑤夷隅郡内で興津の津波被害想定額が最も高かったため。

Q 小・中学校普通教室へのエアコン設置

A 猛暑から子どもたちの命を守り、安全を確保するには来年夏までに全普通教室へのエアコン設置が必要不可欠ではないか。

A 来年6月中を目途に小中学校の普通教室にエアコンの設置ができるよう調査・検討を進める。

ブロック塀の危険除去

Q ブロック塀の調査結果と対策は。

A 7月に学校周辺半径500メートル以内に

91カ所のブロック塀等を把握、今年度末までに夷隅土木事務所が目視による点検調査を実施し、危険と判断されたらポストに通知文を入れる予定である。

国保税の引き下げ

Q 繰越金と財政調整基金を合わせて約2億円の留保資金があり、この1割でさらなる国保税の引き下げが可能ではないか。

A 今後の健全な国保財政運営を図るために、引き続き留保していきたい。



津波避難訓練 (吉尾)

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
まつざき ひろき
松崎 弘樹さん

僕の夢は、車の整備士になることです。僕の祖父が車好きで、小さな頃から車のことを楽しそうに語る姿を見て、僕も車のことを好きになったことがきっかけでした。車の整備士になって、長く愛されてきた車を直し、お客様に喜んでもらえるような仕事をしたいと思います。そのために、今僕はディカバリーチャンネルなどで車に関する動画を見て知識を増やしたり、学校の授業では、整備に役立つと思う技術の授業を頑張ったりしています。



議会のうごきについて報告します (平成30年8月～平成30年10月)

議会のうごき

8月 1日	愛媛県伊予市行政視察 全員協議会・議会報編集委員会	10日	総務文教常任委員会
2日	水道事業運営審議会 JR外房線要望活動(国土交通省)	11日	産業厚生常任委員会
8日	議会改革検討委員会	12・13日	決算審査特別委員会
13日	かつうら若潮まつり花火大会	18日	本会議 最終日 全員協議会・議会報編集委員会
20日	JR外房線要望活動(千葉支社)	20日	電話 de 詐欺撲滅キャンペーン式典 交通安全運動出動式
22日	三重県伊賀市行政視察	22日	裕和園敬老会
25日	全国ふるさと甲子園(東京都)	26日	上野地区敬老会
26日	九都県市合同防災訓練		
29日	議会運営委員会	10月3日	介護保険運営協議会
31日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会(いすみ市)	10・11日	全国都市問題会議(新潟県長岡市)
		11日	千葉県市議会議長会定例総会(千葉市)
9月 3日	本会議 初日 全員説明会・議会改革検討委員会	13日	市制施行60周年記念式典
5日	本会議 一般質問	22日	環境審議会
6日	本会議 一般質問	24・25日	勝浦市民号
7日	本会議 質疑 表彰選考委員会	25～27日	全国漁港漁場大会(大阪府)
		29日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会

編集後記

5つの決算認定は決算審査特別委員会では認定に全員賛成でしたが、本会議では賛否が別れ、反対・賛成討論が行われました。その内容は議事録または中継録画をご覧ください。

議会報編集委員 藤本 治

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!

勝浦カッピャー

